

目次

■ データで見るロシアの欧米からの食料品輸入	鳴沢 政志 1
■ 統計速報	8
2014年1～8月のロシアのブランド別乗用車販売台数／8	
■ エトセトラ	9
「第5回日本カザフスタン経済官民合同協議会」のご案内／9	
「スムガイト化学インダストリアルパーク投資プレゼンテーション」のご案内／9	
「極東新型特区説明・視察会」のご案内／9	
ROTOBO月例報告会「ロシア・ウクライナ情勢の新段階」のご案内／9	
■ モスクワほっとニュース	10
モスクワで日本・ロシアフォーラム開催／10	
■ トピックス	11
ユニプレス・ペテルブルグ工場の建設が開始／11	
宮城の大永商店が納豆をロシアに初出荷／11	

データで見るロシアの欧米諸国の食料品輸入

ロシアNIS経済研究所 研究員
鳴沢 政志

はじめに

ウクライナ問題に端を発するロシアと欧米諸国の対立が続く中、欧米諸国の対ロシア経済制裁の報復措置として、2014年8月6日プーチン・ロシア連邦大統領は1年間のそれら制裁国からの食料品の輸入禁止に署名した(発動は8月7日より)。今速報では、農水産品が欧米諸国からどの程度ロシアに輸入されているか、発動から1ヵ月経った食料品の輸入禁止措置がロシアの経済にどのような影響を与えたかについて基礎的なデータを各報道機関、出版物、政府機関の発表する統計などから引用しご紹介する。

欧米諸国からロシアへの輸出

2014年9月11日時点で食糧品輸入禁止措置の対象国(以後、対象国)とされているのは、米国、EU、オーストラリア、カナダ、ノルウェーである。また、輸入禁止措置がとられている商品は肉類(牛肉、豚肉、鶏肉)とその調理品、魚介類、牛乳・乳製品、野菜類、果実・ナッツ類、パンやパスタなど穀